



12月23日（月）に今年度第3回目の学校運営協議会を実施しました。

今回は報告事項1つと協議事項3つでした。

①報告事項

始めに、県の事業である「高校生海外フィールドワーク 2024」に採択された本校チーム「^{ヒュッゲ}Hygge」が、10月下旬にデンマークへ渡航した際の報告を、生徒が作成したスライドを用いて行いました。渡航に向けての準備、渡航中の内容、学んだこと、渡航後の流れについて説明がありました。また、デンマークにおける食品ロス対策の調査を通じて、世界の貧困地域の支援の姿勢に感銘を受けたことや、海外に渡航したことで青森県の良さを改めて感じ、更にアピールしていきたいとの報告がありました。



②協議事項

国際交流・異文化体験プログラム開発の答申…担当から、以下の3つのプログラムを提案したいという説明がありました。

①地元でできるプログラム

(1) 観光ガイドボランティア (2) 弘大留学生との交流（構想段階）

②本校や近隣で、比較的安価で国際交流・英語体験ができるプログラム

③ボストン短期留学プログラム「メンター帯同型」

P T A改革について…弘前高校の有意義な教育活動を継続していくために、P T A加入状況を鑑みて、予算措置の移行と事業仕分けを行ったという説明が、学校側からありました。

部活動改革の進捗状況について…担当から、プロジェクトチームを教員と生徒で発足させ、部活動の在り方に係わる課題について重点的に検討しており、特に適正な部活動数について協議していることが報告されました。また、教員向けのアンケートの結果が紹介されました。



～委員からの主な御意見～

ボストン短期留学については、人数が少なくても、多少高額でも、まずはやってみるべき。

弘前高校のP T Aの予算は、生徒のためにしっかりと組まれている。P T A会員となる意義をきちんと捉えさせ、伝えていく必要がある。

部活動の地域移行そのものが、国が作り出した社会問題である。それに対して学校側が解決しなければならないという様相になっていることが心配。

次の学校運営協議会は、2月14日（金）に実施の予定で、今年度の総括と次年度に向けての話題を中心に熟議をする予定です。今年度最後の学校運営協議会となります。